

○インターネット **はらまち九条の会** **検索** で、本会活動や会報をご覧ください。



九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 **No.260**
2015(平成27)年4月16日(木)発行



■ **「はらまち九条の会」** は、戦争放棄の憲法第9条を護って「戦争をしない国・日本」をめざし、支持政党や主義主張を問わない自由な市民の会です。平和のために独自の自主的な活動を行っています。どなたでも、どこに住んでおられようと会員になれます。匿名でもけっこうです。■ 結成は05年12月。会員は南相馬市原町区を中心に437名。年会費は千円。■ 震災後、困難な状況に追い込まれていますが、「憲法学者鈴木安蔵のふるさと」、「事故の福島第一原発に世界一近い『九条の会』」を自覚して活動しています。

3月市議会に「市当局による『憲法小冊子』発行、市内全戸への配布」を陳情

南相馬市の「『憲法・小冊子』の再発行・全戸配布」が認められました

■市内の4つの「九条の会」(はらまち・鹿島・小高・相双教職員九条の会)では、2月16日、南相馬市議会に市当局が「『憲法・小冊子』を再発行し、南相馬市全戸に配布するよう求める陳情書」を提出しました。■4月15日に市議会総務委員会から陳情の趣旨説明を問われ、はらまち九条の会から平田会長、小高九条の会から志賀勝明、鹿島九条の会から柴田次男、相双教職員九条の会から浜名紘隆さんが出席。9時から約1時間の説明で、陳情は採択され、6月議会で確定の見通しとなりました。■これは1971(昭和46)年、山田貢市長時代に『憲法・小冊子』を発行・当時の原町市の全戸に配布した以来のことで、現政権により憲法改定が行われようとしている時、全国でも稀な、歴史的なことです。■大文字で読み仮名のついた、読みやすい『憲法・小冊子』がいいですね。

《「はらまち九条の会」これからの活動》

4月26日(日)原町区旭公園「春の市民まつり」に参加

「戦争しない国・日本」を訴えます・お手伝い大歓迎!

皆さまも一緒に市民に「憲法9条」の大切さを訴えましょう!

本会は会場で次のようにアピールします!

- イ 「憲法9条にノーベル賞を」の署名を集めます。
- ロ 自衛隊が海外で戦争することに賛否のシール投票。
- ハ 「9条守ろう」のカンバッチづくり、プレゼント。
- ニ 「5月始まりのカレンダー」プレゼント。
- ホ お互いの意見や情報交換をしましょう。



<右写真>は、2006年11月3日の原町区「あきいち」での「はらまち九条の会」のブース。憲法アンケート、本の販売、会報の配布、護憲シール配布などで賑わいました!

○5月3日憲法記念日に「集団的自衛権のチラシ」を市内新聞に折り込みます。

・南相馬市原町区・鹿島区で配布の全新聞約12,000部に折り込みます。ご覧ください。

○5月3日の全国紙の「市民意見広告」に「はらまち九条の会」も協賛応募します。

・小さい文字で載っていますので、虫メガネで見つけてください。

今こそ泣きながら抵抗を始めよう 平和のために

＜ガンと闘いながら訴える なかにし礼の『平和の申し子たちへ』＞

平和の申し子たちへ！

泣きながら抵抗を始めよう

二〇一四年七月二日火曜日

集団的自衛権が閣議決定された

この日 日本を誇るべき

たった二つの宝物

平和憲法は粉碎された

つまり君たち若者もまた

圧殺されたのである

こんな憲法違反にたいして

最高裁はなんの文句も言わない

かくして君たちの日本は

その長い歴史の中の

どんな時代よりも禍々しい

暗黒時代へともどっていく

そしてまたあの

醜悪と愚劣 残酷と恐怖の

戦争が始まるだらう

ああ 若き友たちよ！

巨大な鹵車がひとたひぐらつと

回りはじめたら最後

君もその中に巻き込まれる

いやがおうでも巻き込まれる

しかし君に戦う理由などあるのか

国のため？ 大義のため？

そんなもののために

君は銃て人を狙えるのか

君は銃剣て人を刺せるのか
君は人々の上に爆弾を落とせるのか

若き友たちよ！

君は戦場に行つてはならない

なぜなら君は戦争にむいてないからだ

世界史上類例のない

六十九年間も平和がつづいた

理想の国に生まれただもの

平和しか知らないんだ

平和の申し子なんだ

平和こそが君の故郷であり

生活であり存在理由なんだ

平和ほけ？ なんとでも言わしておけ

戦争なんか真つ平ごめん

人殺しどころか喧嘩もしたくない

たとえ国家といえども

俺の人生にかまわなくてくれ

俺は臆病なんだ

俺は弱虫なんだ

卑怯者？ そうかもしれぬ

しかし俺は平和が好きなんだ

それのどこが悪い？

弱くあることも

勇気のあることなんだぜ

そう言つて胸をはれば

なにか清々しい風が吹くじゃないか

怖れるものはなにもない

愛する平和の申し子たちよ

この世に生まれ出た時

君は命の歓喜の産声をあげた

君の命よりも大切なものはない

生き抜かなければならない

死んではならない

が殺してもいけない

だから今こそ！

もつともか弱きものとして

産声をあげる赤児のように

泣きながら抵抗を始めよう

泣きながら抵抗をしつづけるのだ

泣くことを一生やめてはならない

平和のために！

なかにし礼

なかにし礼

一九三八年、中国黒龍江省(旧満洲)牡丹江市生まれ。

立教大学文学部仏文科卒業。

在学中よりジャンソンの訳詩を手がけ、その後、作詩家として活躍、

日本レコード大賞、日本作詩大賞ほか多くの音楽賞を受賞する。

二〇〇〇年、『長崎ふらふら節』で直木賞受賞。

他の著書に『兄弟』『赤い月』『さくら伝説』『黄昏に歌え』、

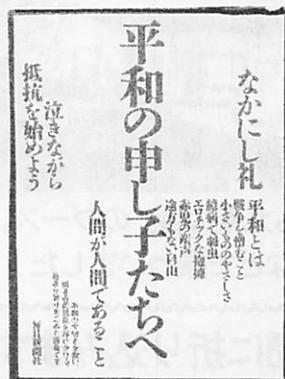
『戦場のニナ』『三拍子の魔力』『世界は俺が回してる』、

『生きる力―心てがんに克つ』、

『天皇と日本国憲法―反戦と抵抗のための文化論』、



なかにし礼(なかにし礼)



○なかにし礼さんは、ご存知のように作詞家として作品は約4千。この詩を掲載した詩集『平和の申し子たちへ』は昨年11月、毎日新聞社から発売、¥1100。「さあみんな逃げるんだ」など12の平和の詩は必読です。○また、作家生活50周年記念アルバムCD『なかにし礼と12人の女優たち』も今、話題になっています。